

Contents 5th AEET Workshop and Japan-YWP Symposium in Nagaoka

2025年7月4日、アオーレ長岡にて「第5回先端エコ環境技術（AEET）ワークショップ」と「Japan-YWPシンポジウム」が開催されました。本ワークショップは、水環境分野の若手研究者や専門家がアイデアを交換し、人的ネットワークを広げ、第一線で活躍する研究者と交流する場として、活発な議論が展開されました。また、学際的な連携や革新的技術による環境課題解決への期待が一層高まる機会ともなりました。

今年度は、アジア各国をはじめとする地域から7名の招待講演者が登壇し、最新の研究成果と独自の視点が共有されました。会場には大学教授、研究者、学生など多彩な参加者が集まり、持続可能な水・環境研究に対する国際的な関心の高さがうかがえました。

インド水文学研究所（NIH）のRao博士は「インドにおける未処理下水処理問題」をテーマに基調講演を行い、都市化の進展に伴う課題と国際連携の重要性を強調しました。続いて、韓国・ゲント大学グローバルキャンパスのNguyen博士が膜技術の最新研究を紹介し、マレーシア・マラヤ大学のChua教授はDHSリアクターによるアンモニア除去の有効性を報告しました。さらに、タイ・NSTDAのSuraraksa博士は、メタン生成を高める嫌気性微生物群集のスケールアップ研究を紹介しました。

後半では、NIHのTyagi博士がインドにおける水・廃棄物管理の実践例を発表し、産総研の成廣博士が長岡技術科学大学との共同研究（BIL、COI-NEXT）を報告、農業や地域特産品への波及効果を強調しました。最後に、スリランカ・スリジャヤワルデネプラ大学のHewawasam博士が都市下水処理に関する革新的戦略を提案しました。

閉会にあたり、京都大学の野村洋平博士（Japan-YWP代表）が一日の議論を総括し、今後のプログラムを紹介。参加者間の知識交流と国際ネットワーク構築の重要性を改めて確認し、盛況のうちに幕を閉じました。





Contents

「下水道展ツアー」を実施！ 若手研究者・技術者に業界の魅力を発信

7月31日、若手研究者・技術者に下水道業界の魅力に触れる機会として、下水道展ツアーを実施しました。Japan-YWPメンバーをコーディネーターとして、事前に参加登録いただいた産官からの若手研究者・技術者が、学生とともに下水道展を廻りました。ツアーは午前と午後で計2回開催しました。参加者はみな、規模の大きさに圧倒されていました。出展者数 350社、出展小間数 1,186小間とは、とてもつものない規模ですよ。どのブースもたくさんの来場者で賑わっており、ブースに入る前からワクワクが止まりませんでした。

最新のセンシング技術や下水処理技術、ポンプやブロワなどの装置、さらにそれらの要素を組み合わせたシステムを紹介する企業や団体が多数出展しており、各自の業務や研究に関連する技術から初めて触れる製品まで幅広く見学しました。参加者の多くは下水処理場で業務や研究開発に取り組んでおり、管路の更生工法における最新技術の紹介ブースを見学した際、地下埋設管路の更生技術に感銘を受けていました。施工事例や新技術の特徴について直接説明を受け、実際の設備やサンプルを見ながら理解を深めました。特に、実物大の更生管モデルを使った展示では、管径や施工方法の違いによる効果を体感でき、活発な質疑応答が行われました。また、水質計測技術のブースでは、リアルタイムでの水質モニタリングを解決するための最新センサーや測定システムを見学しました。現場で活用されている最先端技術を身近に感じることができました。

まだまだ書きたいこといっぱいなのですが、会場全体の様子や来場者・出展者の感想等については[こちら](#)からご確認ください。本ツアーは、国内外の若手研究者・技術者にとって、下水道業界の動向を知るだけでなく、ネットワーキングの場としても有意義な機会となりました。Japan-YWPでもいつか下水道展に匹敵するほどの魅力いっぱいのイベントをいつか開催できればと思いましたが、いつになることやらって感じです。Japan-YWPでは、今後も若手世代のスキルアップや視野拡大を目的としたイベントを企画し、研究者・技術者・企業の垣根を超えた交流促進に取り組んでまいります！



管路更生技術に関する
ブース見学の様子



水質計測技術に関する
ブース見学の様子

Contents

Japan-YWP15周年を国際発信！！ Canada-YWP主催国際会議での活動と9/2セミナーの紹介

2025年6月18日～20日にカナダ・アルバータ大学で開催されたCanada-YWP主催の国際会議において、Japan-YWPの活動についてポスター発表を行いました。2010年の設立から現在に至るまでの活動の歴史、会員数の推移、国内外でのシンポジウム開催、若手研究者・技術者のネットワーキングなど、これまでの15年間の取り組みを紹介しました。発表時には多くの参加者が立ち寄り、活発な意見交換が行われました。

また、日本の下水道におけるユニークな取り組みの一例として、「マンホールカード」を展示しました。地域ごとの特色あるデザインや観光資源としての新たな価値に加えて、子ども達が下水道を知り学ぶきっかけにもなっていることに感銘を受けている様子でした。

今回の参加を通じて、Japan-YWPのこれまでの活動に合わせて、日本の下水道・地域文化の魅力を広く発信することができ、さらに現地のCanada-YWPとのネットワークを築くことができました。今後も引き続き、若手の研究者・技術者の交流と発展に寄与する活動を推進してまいります。

早速、9月2日に開催した“**Bio-electrochemical Technology for Environmental Protection**”では本国際会議で関係を築いたCanada-YWPメンバーをはじめ国内外から第一線で活躍する研究者をお招きし、対面+オンラインのハイブリッド形式でのセミナーを開催いたしました！

最新のバイオ電気化学技術を環境保全に応用するための最先端研究を紹介し、国内外の研究者とのネットワーキング、バイオ電気化学技術に関する最新の知見を得られる機会となりました。詳細は次号ニュースレターにてご紹介いたします。



ポスター発表（15年間の活動を紹介！）



日本のマンホールカードの紹介

Contents 大阪万博 イベント開催予告

現在開催中の 大阪・関西万博 は、世界各国の最新の技術・知見が展示され、実際にそれらを体感することができます。中には、環境問題や水分野に関わる展示を行うパビリオンもあるようです。

今回、オランダに拠点を置く国際若手コミュニティ“**Wavemakers United**”よりお声をいただき、大阪万博を会場に「**水**」に関するワークショップを共催することとなりました！

本ワークショップでは、「**未来の水課題とイノベーション**」をテーマに、若手研究者・技術者、専門家、関係機関が一堂に会し、最新の知見やアイデアを共有。世代や分野を超えた協働の可能性について議論を行います。次世代を担う国際的なネットワークをさらに広げる機会となれば幸いです。

■ **日時**：2025年10月9日（木）13:00～17:30

■ **場所**：**EXPO2025関西・大阪万博 オランダパビリオン**

■ **言語**：英語

■ **参加者**：Wavemakers United関係者 30名（オランダ、インドネシア）

日本在住の若手の水分野関係者、学生（定員50名、事前登録制）

■ **参加費**：無料 ※万博入場券は主催者側で準備、交通費・宿泊費は参加者負担

※参加をご希望の方は、メール（japanyw@p@gmail.com）にてお問い合わせください

Wavemakers Unitedは、世界中の若者が水問題の解決に向けて行動することを目的とした国際的な教育・啓発プログラムです。学生や若手専門家、アスリートが「ウォーターアンバサダー」として活動し、水の持続可能な利用や国際協力を広めています。教育機関、政府、企業と連携し、次世代の水のリーダー育成を支援しています。



Wavemakers United HP

Contents Japan YWP主催！ お仕事セミナー 今年も開催！

水業界で働く面白さを学生さんに知っていただくためのイベントです。メーカー、コンサル、自治体、学术界と様々なセクターに在籍する水業界の社会人をゲストとしてお招きし、車座形式で会話いただける機会を設けました。

9月上旬ごろに参加申し込み用のGoogle Formを開設し、受付を開始する予定です。ふるってご参加ください！

◆◆ in 関西 ◆◆

・ **日時**：2025年10月11日（土）15:00～17:00

・ **場所**：京都大学（対面参加のみ）

・ **対象者**：学生

・ **定員**：20名程度

◆◆ in 関東 ◆◆

・ **日時**：2025年10月18日（土）15:00～17:00

・ **場所**：中央大学（対面・オンライン）

・ **対象者**：学生

・ **定員**：対面20名程度、オンライン10名程度



昨年お仕事セミナーの様子

詳細は[こちら](#)のリーフレットをご覧ください！↑↑申し込みフォーム（共通）

<Contents 19th IWA Conference on Sludge ManagementとJapan-YWP 共催！ YWP懇親会 in IWA Sludge Management

Japan-YWPは、日本初開催となる19th IWA Conference on Sludge Managementと一緒に盛り上げます！若手交流および異分野交流、国際交流を通じて、未来に繋がるネットワークを広げましょう！

9月中旬ごろに参加申し込み用のGoogle Formを開設し、受付を開始する予定です。ふるってご参加ください！

- 日時：2025年10月21日（火）18:30～
- 場所：京果会館（対面参加のみ）
- 対象者：40歳以下の社会人および学生
- 参加費：無料

【問合せ先】

本間亮介（京都大学）

: homma.ryosuke.6j@kyoto-u.ac.jp

【IWA Sludge Managementとは】

IWA Sludge Managementは、IWAの専門グループの一つであるスラッジ管理専門グループが、世界中の研究者や技術者がこの分野における研究成果と経験を共有し、技術革新のプラットフォームを構築することを目的に開催する国際会議です。

第19回会議は2025年10月21日から24日まで、日本・京都で開催されます。

<Contents Japan-YWP設立15周年シンポジウム アップデート ～会場と日時が決定しました！～

前回のニュースレターでお知らせした「**Japan-YWP設立15周年記念シンポジウム**」について、長岡合宿や打ち合わせを経て、下記の通り会場と日時がついに決まりましたのでご案内します！翌日から開催される第60回日本水環境学会年会（3月9～11日）に先立ち、水に関わる若手が一堂に会する特別な1日にしたいと考えています。

- 開催日時：2026年3月8日（日）13:00～
- 会場：一橋講堂（東京都千代田区、最寄り駅：神保町駅（徒歩4分）竹橋駅（徒歩4分））
- 対象：どなたでもWelcome！学生はもちろん、Youngも、Middleも、Senior也大歓迎です！
- 懇親会：有り

これまでの15年を振り返りながら、**これからの水環境の未来をみんなで描くための参加型企画**を盛り込みます。参加者一人ひとりが自分の研究テーマや関心領域をマッピングし、「自分はどこで、何を研究しているのか」「誰とつながれるのか」が一目でわかる**Japan-YWPコミュニティマップ**を参加者と一体となって作り上げます。さらに、最新研究の共有し世代や立場を超えた交流を通じて、新たなネットワークを築くとともに、**10年後、50年後、100年後の未来の水環境を一緒に考える**、そんな時間にしたいと思っています。

詳細プログラムについては、決まり次第、ニュースレターやフェイスブック等で配信案内します。

ふるってご参加ください！

Japan-YWPは、随時会員募集中！

会員要件は、大学・研究機関、官公庁、下水道・下水道事業体、民間企業などに所属する水関係の若手・学生（原則35歳以下）とし、専門内容やIWA会員であることの有無は問いません。年会費等は不要です。会員登録されますと各イベントの情報をメールで受け取ることができます。入会手続きはWebサイトまたはメールから行うことができます。



ホームページから（右図参照→）

Japan-YWP ホームページの入会フォームからも入会手続きが可能です。

トップページの「Japan-YWPへのご入会」より入会フォームへお進みください。



[Japan-YWP HP](#)



[入会フォーム](#)



メールから

- ①所属 ②氏名 ③生年月日
④E-mailアドレス ⑤専門分野

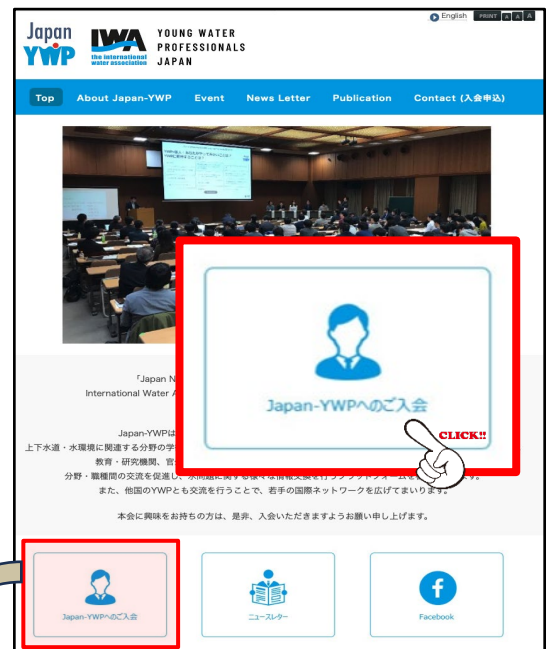
を明記の上、以下のアドレスまで申し込み下さい。

japanywp@gmail.com



Facebook

その他、イベント情報等は
[Facebook](#)でも配信しています！
お気軽にフォローして下さい。



Japan National Young Water Professionals Newsletter Vol. 24

発行：2025年9月

発行者：Japan National Young Water Professionals
（代表：野村洋平（京都大学））

ホームページ：<http://www.japan-ywp.site>